

私は平成5年に、製薬会社を辞めて、49歳にして現在の会社、ヴァリダックスを設立致しました。

設立当初は疼痛を治療する400万円近い医療機械の総代理店権を取得しアメリカから輸入販売しておりました。

最初の2年間の業績は良かったのですが、3年目以降はバブルがはじけた後で、更に日本国内が平成の不況となり、その影響で会社の業績は大変厳しい状況に陥りました。医療機関も不景気のため新しい機械を導入する余裕がなくなってしまう、まったく売れないのです。

また別件でアメリカの会社から訴訟を起こされ、3年間裁判と戦い、結果は白となりましたが膨大な時間と弁護士費用がかさみ大変な想いをし、さらに、その時期はちょうど息子の大学進学もあり経済的にはさらに厳しい状態経済的にも精神的にもかなり苦しい状況に追い込まれておりました。

やがて資本金も1,000万円が100万円を切りました。1人でやっても、自分の給以外に毎月30万円ぐらいの経費がかかっており、どうやって経営したらいいか苦慮しました。デモをしなければ、医療器械の性質上、販売には繋がらないので、経費がかかる遠方には出張できず、近辺のみのデモになったり、また徐々に訪問先も限定されて、遂には訪問先もなくなってしまい、おのずと成果がおちてくるのが目に見えてきました。

「このまま事業を継続すれば、数ヶ月ももたないだろうな……」と判断し廃業を考えました。当時、「会社を廃業し、焼き鳥屋かラーメン屋をやろう」と真剣に考えていました。

そんな時、会社を立ち上げる時とか、人生で何か迷った時に相談する先生がおりまして、植物酵素のことを以前より話していたことから、ヴァリダックスを廃業して他の仕事をやりたいと先生に相談したところ、「この酵素に命をかける！」と言われ、ハッとして我に返ったのです。

当時、仕事の関係でたびたびアメリカに行っていました。そこで今販売している「植物酵素」の元にあたる「酵素栄養学」に出会ったのです。「酵素」が人間にとっていかに大切かという事を初めて知り大変共感しました。

酵素栄養学の権威あるアメリカの医学博士、エドワード・ハウエル先生は、「酵素によって人間の生命が存在し、酵素が体内から無くなったときに人間は死ぬ」と指摘しています。

「酵素」は人間の身体の中にあり、あらゆる生命活動を支えております。具体的には、脳や心臓などの臓器や器官、筋肉や骨などの組織、赤血球、白血球、ホルモンなどの細胞は全て「酵素」の力によって働いているのです。つま

り、「酵素」が体内にないと人間は生きていけないのです。

以前は製薬会社に勤務していたとき、「医療がこれだけ発達しているにもかかわらず、何故病気が一向に減らないのか。むしろ増えているじゃないか」と非常に疑問に感じておりました。

体の基になるのは、血液なのです。血液が正常で体内を循環していれば常に健康な状態を保つことが出来るのです。又、血液と酵素は非常に密接な関係があるのです。

そこで、短時間で血液を改善させる酵素が食品で開発できないものだろうかといういろいろな専門家と相談してみましたが、ほとんどの人が、口では簡単に出来ると言いますが、結局は莫大なお金を要求する人ばかりでした。

現在の植物酵素は、当社の開発者と私の二人三脚で出来上がったわけですが、商品が出来上がっても、どの様にして販売するかと言うノウハウが全くなく途方にくれました。

このとき、「どんなことをするにも一人では出来ない」と言うことを実感したわけでした。

開発して間もない頃、当時大阪市立大学血液内科の三宮先生のご協力の下で、延べ200名の患者を対象に半年間臨床試験を行い、「植物酵素」がどんな病気を改善するか観察することができました。

血液細胞分析というもので、顕微鏡で生きている血を見る事により、病気を治す大きな情報源が血中に多く秘められているという事。

そして、血液を染色して観察する方法と、生きた血の情報には多少のズレがあり、そのズレに何か疑問を持つようになったのです。

植物酵素を飲む前と、飲んだ後ではこんなにも血液の状態が改善されるということを実感したのです。

実際、患者さんに3ヶ月間植物酵素を飲んでもらい経過を観察してきましたが、私自信信じられないほどの良い結果が続々出てきたのです。

そこで「酵素」が免疫力を上げて難病を含む様々な病気に打ち勝つという事を実証することができました。

2000年の始め頃は、当時「酵素とは何か」について、ほとんどの人が知りませんでした。この酵素のすばらしさを世の中の人にもっと知ってもらうために、大阪市立医科大学で行った、臨床例などと、酵素をやさしく解説した本「きれいな血液が健康を作る」を出版したのです。この本が本屋さんの店頭で販売されたのが、きっかけで当社の植物酵素が世の中に知られることになり、次々に問い合わせや注文が来るようになったのです。

一つの商品を開発し、世の中で認めてもらえるようになるまでに、どんなにか

たくさんの人の協力、時間、お金がなくてはならないか、身にしみてわかったのです。

さらに「酵素」をもっと探求する為に今度は京都府立医科大学にて動物実験でエビデンスもきちんと取ることができました。これらの実験結果が出た時、今までわかっていなかった「酵素」の素晴らしさを改めて実感いたしました。

私はこの「**植物酵素**」を世の中に出すにあたり、本当に色々な方の協力を得て現在に至っております。その感謝の気持ちを忘れずに、世の中にこれからもより大きく貢献をしていく事を決めております。

正直申しまして、商品は決して安くはありません。ただ、私はこの「**植物酵素**」を通じて代替医療（西洋医学以外の医療）の分野で現代医学では治らないと言われている多くの人々に効果があった事を目の当たりにしました。この「**植物酵素**」は私が時間をかけて開発し、手塩をかけてきた自分子供のような大切な商品です。

一人でも多くの方がこの「**植物酵素**」を体験され、より健やかな暮らしを手に入れられることを大変嬉しく思います。

これからもずっと皆様に「松尾と会えて良かった」と喜んでいただける仕事をしてまいります。

株式会社ヴァリダックス
代表取締役 松尾龍飛克